

## 尼崎信用金庫記念館

設計:不祥

竣工:不祥(明治30年代?)

住所:兵庫県尼崎市西本町北通3丁目

交通:阪神電鉄尼崎駅徒歩5分



大正10年(1921)、有限責任尼崎信用組合(現・尼崎信用金庫)が創設した際の本店事務所。戦後間もない時期から同信金の記念館となり、昭和47年(1972)の新本店建築の際に北へ約50メートルずらした現在地に移され、今日に至っている。

建設時期はハッキリしていないが、地元の古老の証言などによると、明治30年代には既に初代組合長・小森純一所有の建物の一つ(マッチ工場)として存在していたという。

それが事実とすれば、100年以上経過しているわけで、この「金融機関レトロ建物館」で紹介している建築物の中でも最古級ということになる。それが、阪神大震災にも耐え抜いたことは、奇跡的と言ってもよいだろう。

デザインとしては、それ程派手ではないが、どっしりと落ち着いた実用本位の印象を受ける。平成2年(1991)、『尼崎市都市美形成建築物』に指定された。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。